

平成29年12月22日

各 位

前澤工業株式会社
代表取締役社長 松原 正
(コード番号6489 東証第1部)
問い合わせ先
民需推進部長 今田 勝也
TEL 048-251-5511

北海道清水町美蔓^{びまん}バイオガスプラント建設工事を受注

平成29年12月1日付けで、「十勝清水バイオマスエネルギー株式会社」と当社は、清水町美蔓バイオガスプラント建設工事に関する請負契約を下記のとおり締結いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、水に関わる分野の社会資本整備、浄化事業における実績をもとに、さらに広く環境関連分野に対する事業展開に取り組んでおります。バイオガスプラントについても国内において、これまで4ヶ所の施工実績があり、その内、農林水産省から受託した『平成25年度地域循環型バイオガス構築モデル事業』では北海道士幌町内の農場での委託実証試験を完了させ、平成28年度から自社によるプラントの実運用に入るなど、施設に関する設計および維持管理のノウハウ収集に努めてまいりました。

今後ともバイオマス利活用による地域循環型社会の形成、再生可能エネルギーの普及に向けて貢献してまいります。

記

1. 清水町美蔓バイオガスプラント建設の背景

北海道は国内の生乳の約50%を生産しており、清水町は約24,000頭の乳牛を飼養し、道内でもトップクラスの生乳生産量を誇る酪農地域です。乳牛は生乳10を生産するにあたり約2kgのふん尿が発生するため、酪農家にとってふん尿処理は大きな負担になっています。また、臭気や地下水汚染等の環境阻害要因の一つとなっており、これを適正に処理することは、生乳の安定生産や将来に向けた酪農生産基盤の強化につながり、喫緊に対応すべき課題となっています。

こうした背景の中で、平成27年度より生活協同組合コープさっぽろ（本部・札幌市）の子会社である株式会社エネコープ（本社・札幌市）、清水町、十勝清水町農業協同組合が連携して町内におけるふん尿を地域資源として活かす検討を行ってまいりました。そして、町内酪農家9件とJA十勝清水町が共同出資する新会社（十勝清水バイオマスエネルギー株式会社）を設立し株式会社エネコープの支援の下、運営推進することになります。

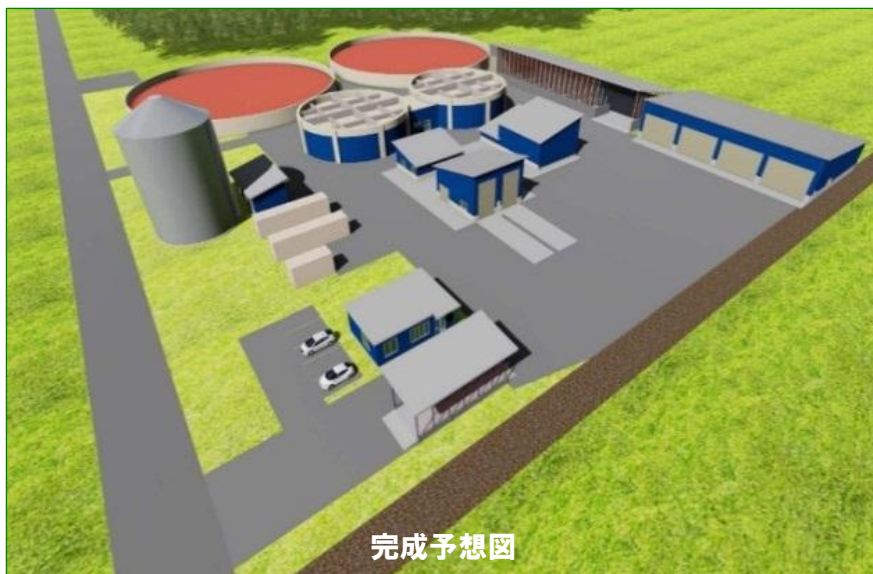
2. 清水町美蔓バイオガスプラントの概要

清水町美蔓バイオガスプラントは、酪農家と農業協同組合が事業主体となる集合型プラントとして国内最大規模です。ふん尿処理はもちろん、消化液および消化液を固液分離した再生敷料を地域で全量利用します。

町内より約 2,000 頭分のふん尿を受入れ（処理量：143 トン/日）、当社が設計・施工する中温メタン発酵設備によりメタン濃度約 55%のバイオガスを生成します。バイオガスは、主に発電機用燃料として活用され、発電される電力の大部分はFIT（電力の固定価格買取制度）により北海道電力に売電されます。

また、発酵残渣である消化液は、ふん尿と比べて臭気が大幅に軽減され、液肥として牧草地に還元されます。消化液に含まれる固形分は堆肥化工程を経て、酪農家に牛舎の敷料として還元されるため、敷料の購入費高騰に対する一助となります。

工 事 名 称	清水町美蔓バイオガスプラント建設工事
工 期	2017年12月～2019年7月
建 設 予 定 地	北海道上川郡清水町字美蔓西22線97番地
プラント規模	143トン/日（約2,000頭規模）
売 電 量	11,664kWh/日（486kW×24H）



以上